

平成 28 年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目 次

1. 調査概要.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 回答者属性.....	2
① 性別	
② 年齢	
③ 居住年数	
④ 転入歴	
⑤ 居住地区	
(2) 基本方針別にみる満足度評価.....	5
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価.....	10
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度.....	15
① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動など.....	20
① まちの住み心地など	
② 日常の生活行動など	
③ 市民であることの誇りや定住意向	
(6) 草津市のイメージ.....	24
① 都市イメージ	
② 地域資源	

1. 調査概要

【調査目的】

平成 25 年度から開始した第 5 次草津市総合計画第 2 期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすること、また、平成 29 年度から開始する第 3 期基本計画の指標の設定にあたり、平成 28 年度の実績値を基準値として把握することを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：平成 28 年 11 月 1 日（火）

【調査方法】

調査は無記名とし、平成 28 年 12 月 1 日（木）から 12 月 19 日（月）を調査期間として、郵送により実施した。

【回収状況】

有効回答数 917 件、有効回答率 30.6%を得た。

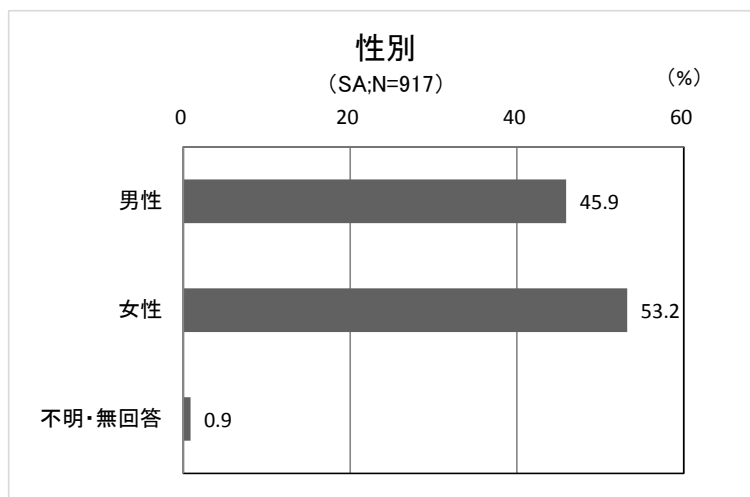
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答数（N）を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

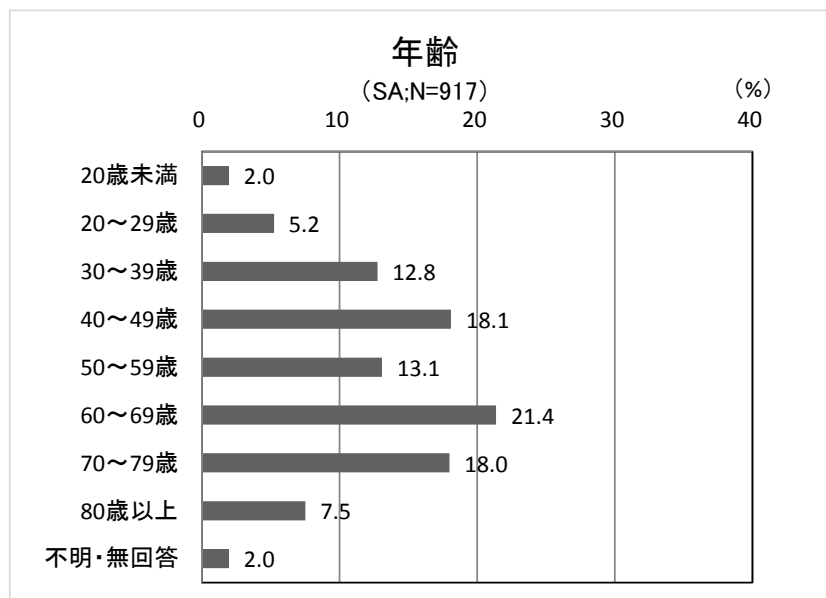
① 性別

「男性」が45.9%、「女性」が53.2%となっています。



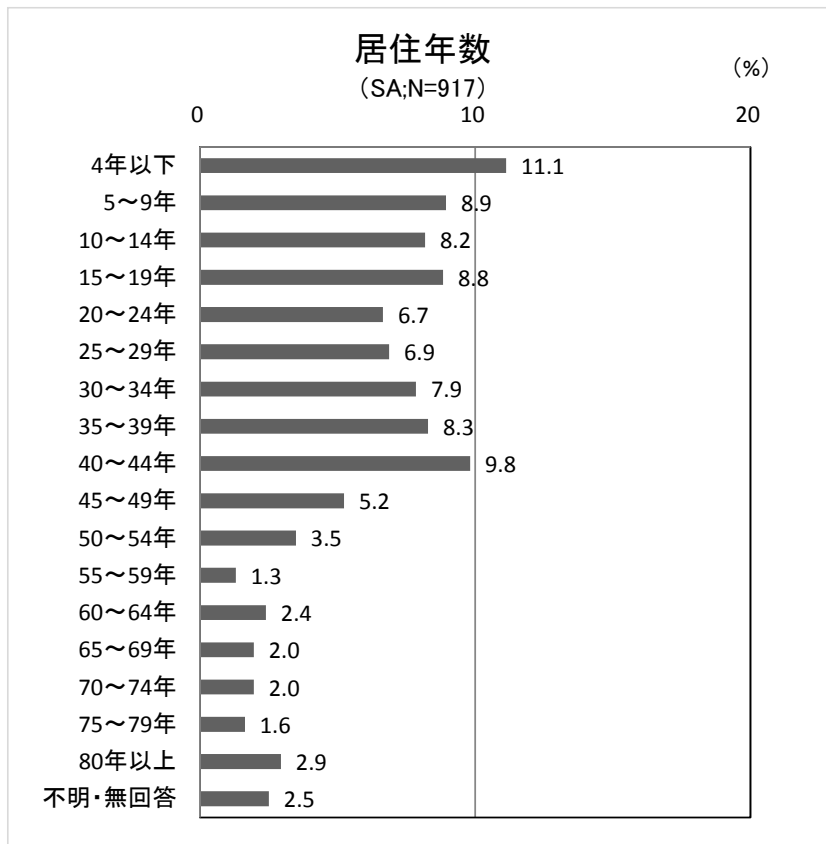
② 年齢

「60～69歳」が最も多く21.4%、次いで「40～49歳」が18.1%、「70～79歳」が18.0%、「50～59歳」が13.1%などとなっています。



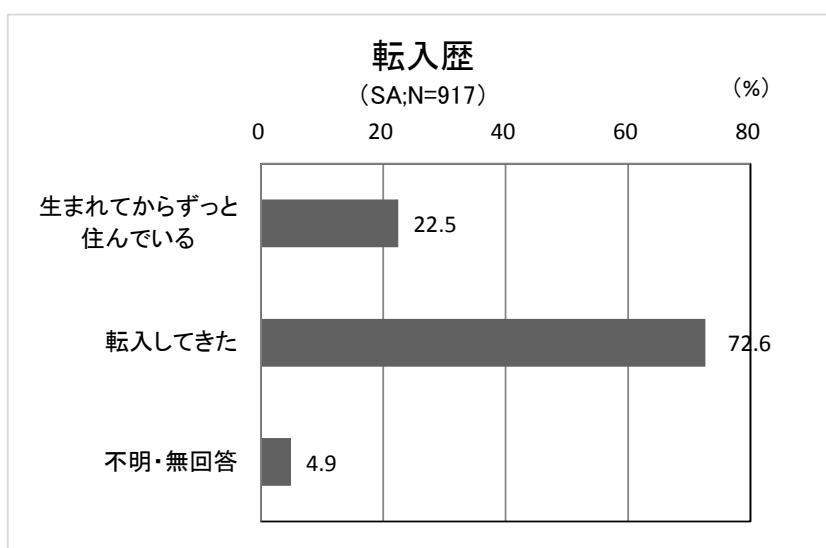
③ 居住年数

「4年以下」が最も多く11.1%、次いで「40～44年」が9.8%、「5～9年」が8.9%、「15～19年」が8.8%などとなっています。



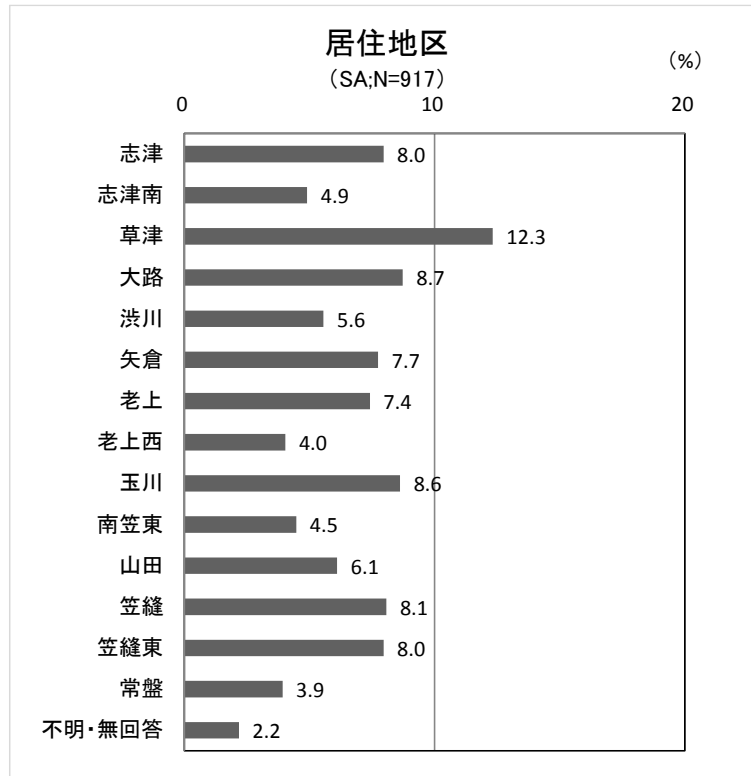
④ 転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が22.5%、「転入してきた」が72.6%となっています。



⑤ 居住地区

「草津」が最も多く 12.3%、次いで「大路」が 8.7%、「玉川」が 8.6%、「笠縫」が 8.1%、「志津」「笠縫東」がそれぞれ 8.0%などとなっています。



(2) 基本方針別に見る満足度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 10.0%、次いで「学校施設の整備」が 9.6%などとなっています。

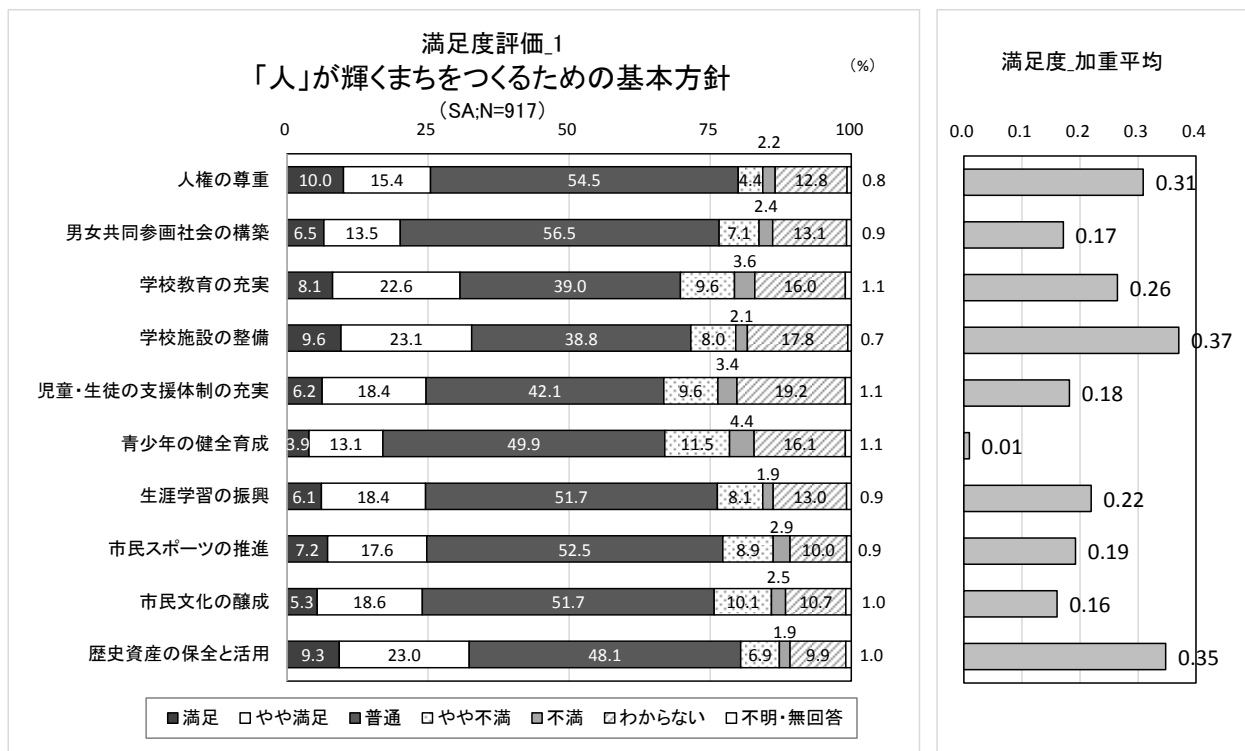
「やや満足」は「学校施設の整備」が最も多く 23.1%、次いで「歴史資産の保全と活用」が 23.0%などとなっています。

「普通」は「男女共同参画社会の構築」が最も多く 56.5%、次いで「人権の尊重」が 54.5%などとなっています。

「やや不満」は「青少年の健全育成」が最も多く 11.5%、次いで「市民文化の醸成」が 10.1%などとなっています。

「不満」は「青少年の健全育成」が最も多く 4.4%、次いで「学校教育の充実」が 3.6%などとなっています。

「わからない」は「児童・生徒の支援体制の充実」が最も多く 19.2%、次いで「学校施設の整備」が 17.8%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「満足」は「母子保健等の充実」が最も多く10.0%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」が8.1%などとなっています。

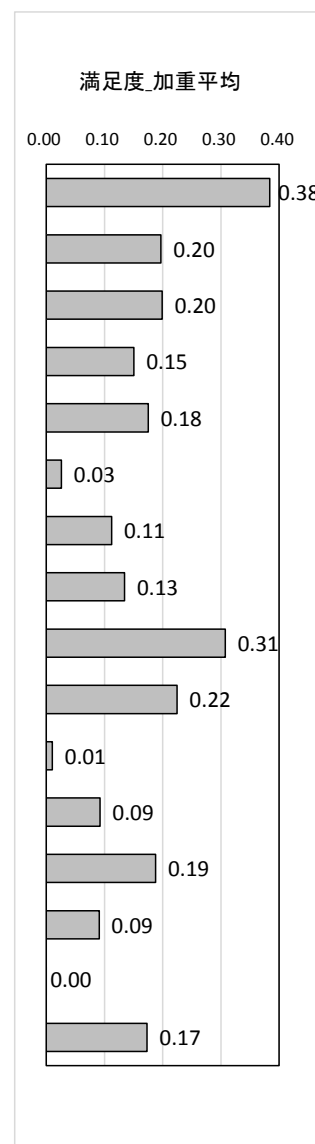
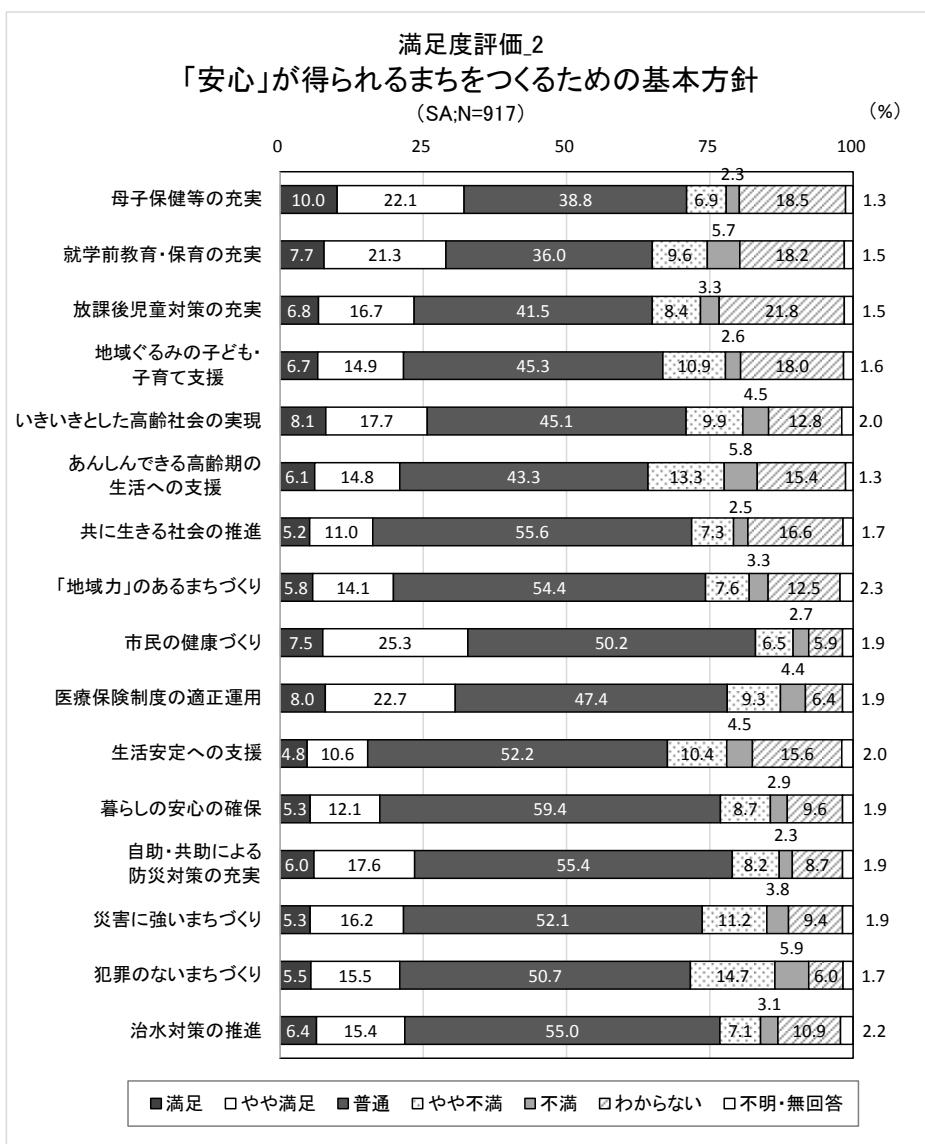
「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く25.3%、次いで「医療保険制度の適正運用」が22.7%などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く59.4%、次いで「共に生きる社会の推進」が55.6%などとなっています。

「やや不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く14.7%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が13.3%などとなっています。

「不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く5.9%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」が5.8%などとなっています。

「わからない」は「放課後児童対策の充実」が最も多く21.8%、次いで「母子保健等の充実」が18.5%などとなっています。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く14.4%、次いで「下水道の安定基盤づくり」が9.4%などとなっています。

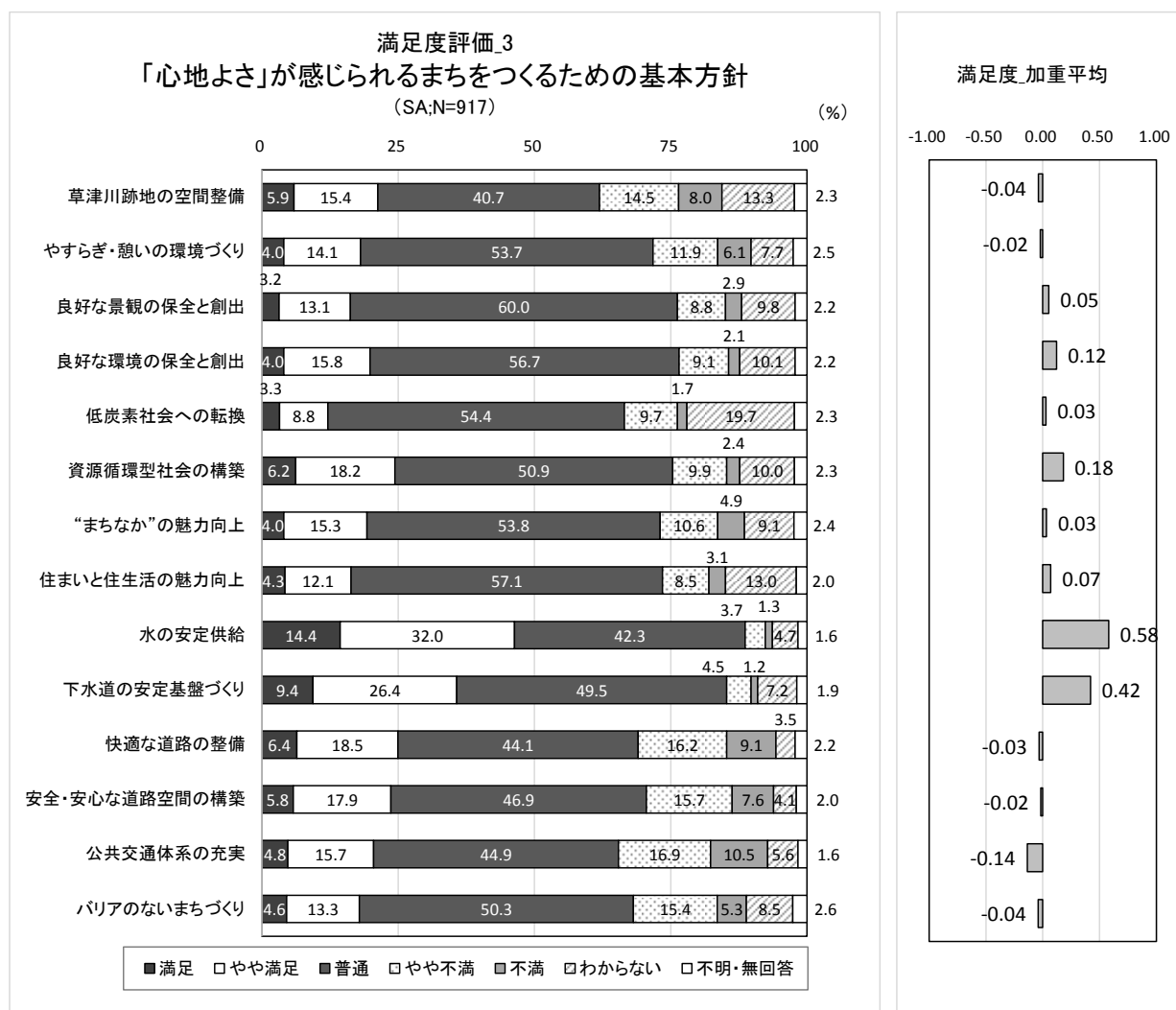
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く32.0%、次いで「下水道の安定基盤づくり」が26.4%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く60.0%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が57.1%などとなっています。

「やや不満」は「公共交通体系の充実」が最も多く16.9%、次いで「快適な道路の整備」が16.2%などとなっています。

「不満」は「公共交通体系の充実」が最も多く10.5%、次いで「快適な道路の整備」が9.1%などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く19.7%、次いで「草津川跡地の空間整備」が13.3%などとなっています。



④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「満足」は「観光の振興」が最も多く 8.6%、次いで「中心市街地の魅力向上」が 6.2%などとなっています。

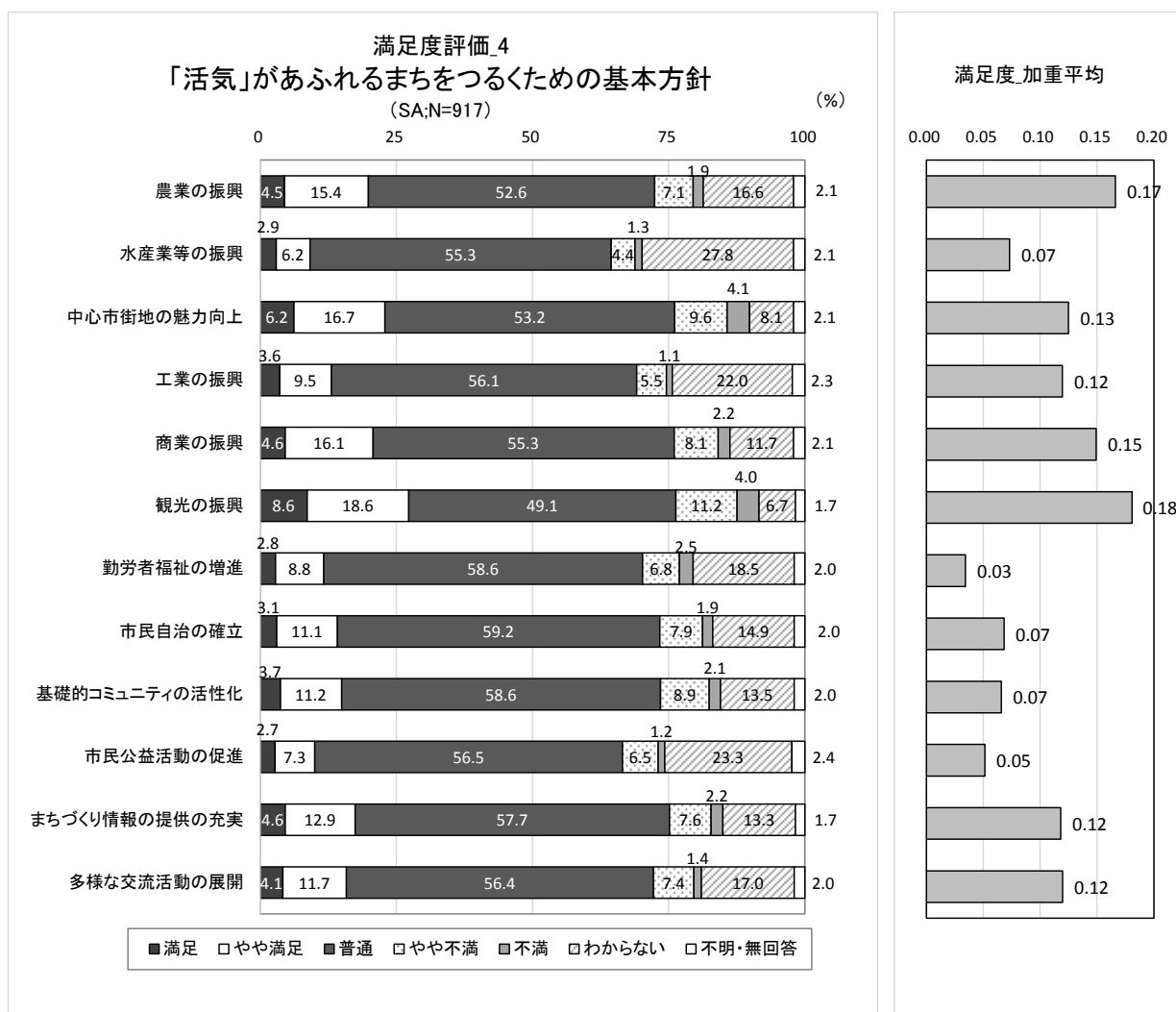
「やや満足」は「観光の振興」が最も多く 18.6%、次いで「中心市街地の魅力向上」が 16.7%などとなっています。

「普通」は「市民自治の確立」が最も多く 59.2%、次いで「勤労者福祉の増進」「基礎的コミュニティの活性化」が 58.6%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く 11.2%、次いで「中心市街地の魅力向上」が 9.6%などとなっています。

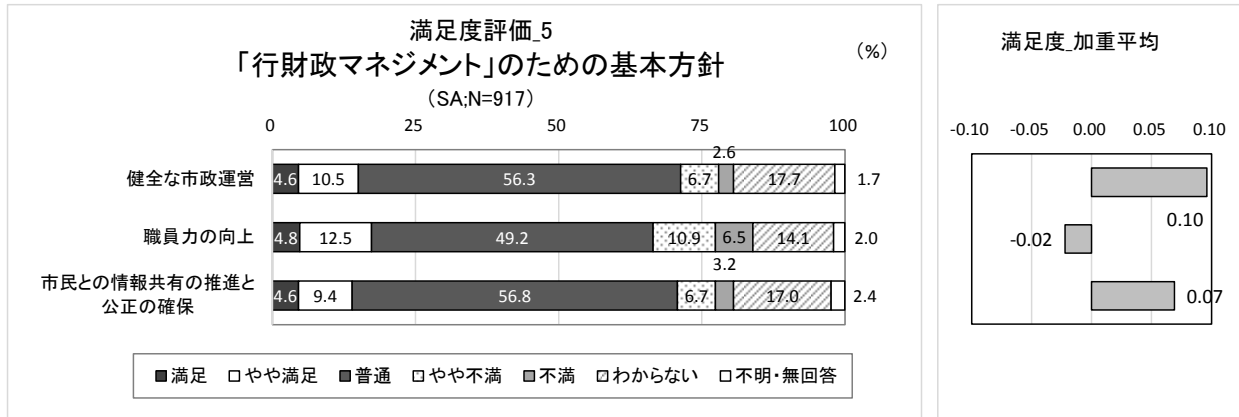
「不満」は「中心市街地の魅力向上」が最も多く 4.1%、次いで「観光の振興」が 4.0%などとなっています。

「わからない」は「水産業等の振興」が最も多く 27.8%、次いで「市民公益活動の促進」が 23.3%などとなっています。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 4.8%などとなっています。
 「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く 12.5%などとなっています。
 「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 56.8%などとなっています。
 「やや不満」は「職員力の向上」が最も多く 10.9%などとなっています。
 「不満」は「職員力の向上」が最も多く 6.5%などとなっています。
 「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 17.7%などとなっています。



(3) 基本方針別にみる重要度評価

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「思う」は「学校教育の充実」が最も多く 44.7%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が 38.4% などとなっています。

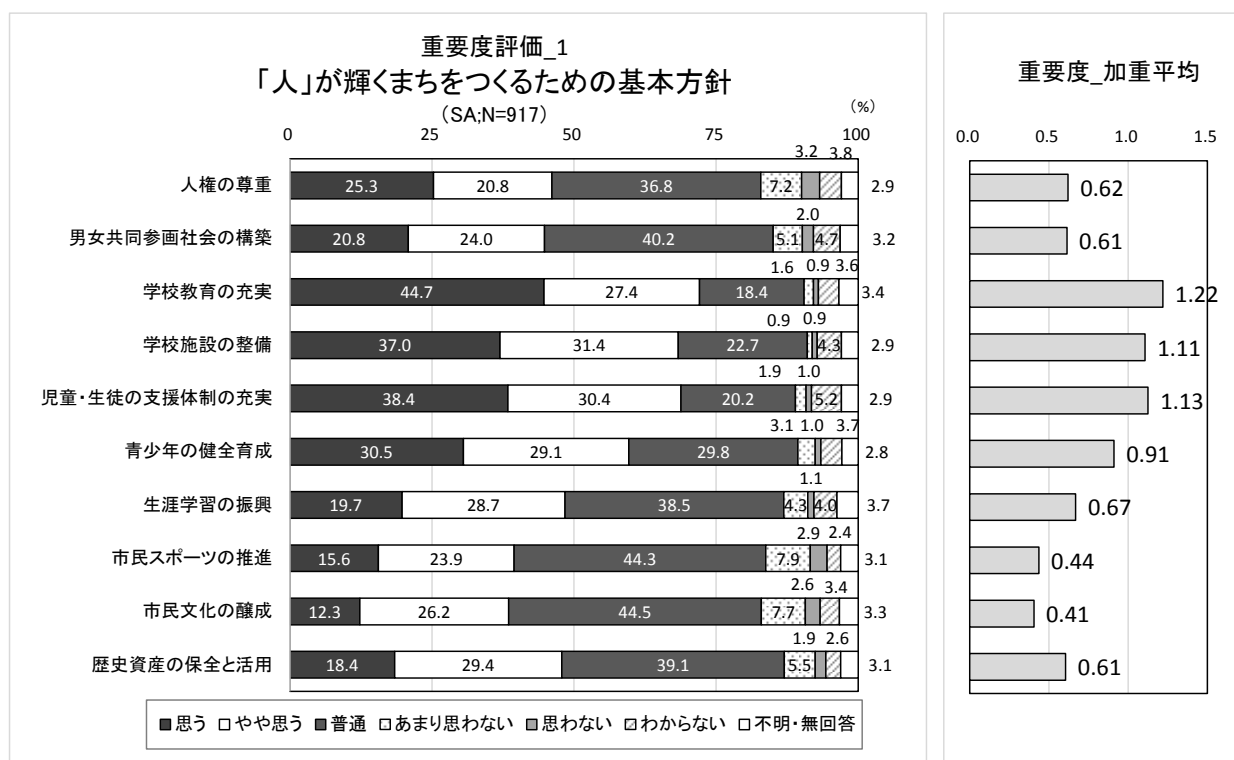
「やや思う」は「学校施設の整備」が最も多く 31.4%、次いで「児童・生徒の支援体制の充実」が 30.4% などとなっています。

「普通」は「市民文化の醸成」が最も多く 44.5%、次いで「市民スポーツの推進」が 44.3% などとなっています。

「あまり思わない」は「市民スポーツの推進」が最も多く 7.9%、次いで「市民文化の醸成」が 7.7% などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」が最も多く 3.2%、次いで「市民スポーツの推進」が 2.9% などとなっています。

「わからない」は「児童・生徒の支援体制の充実」が最も多く 5.2%、次いで「男女共同参画社会の構築」が 4.7% などとなっています。



加重平均について：「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 46.3%、次いで「就学前教育・保育の充実」が 41.4% などとなっています。

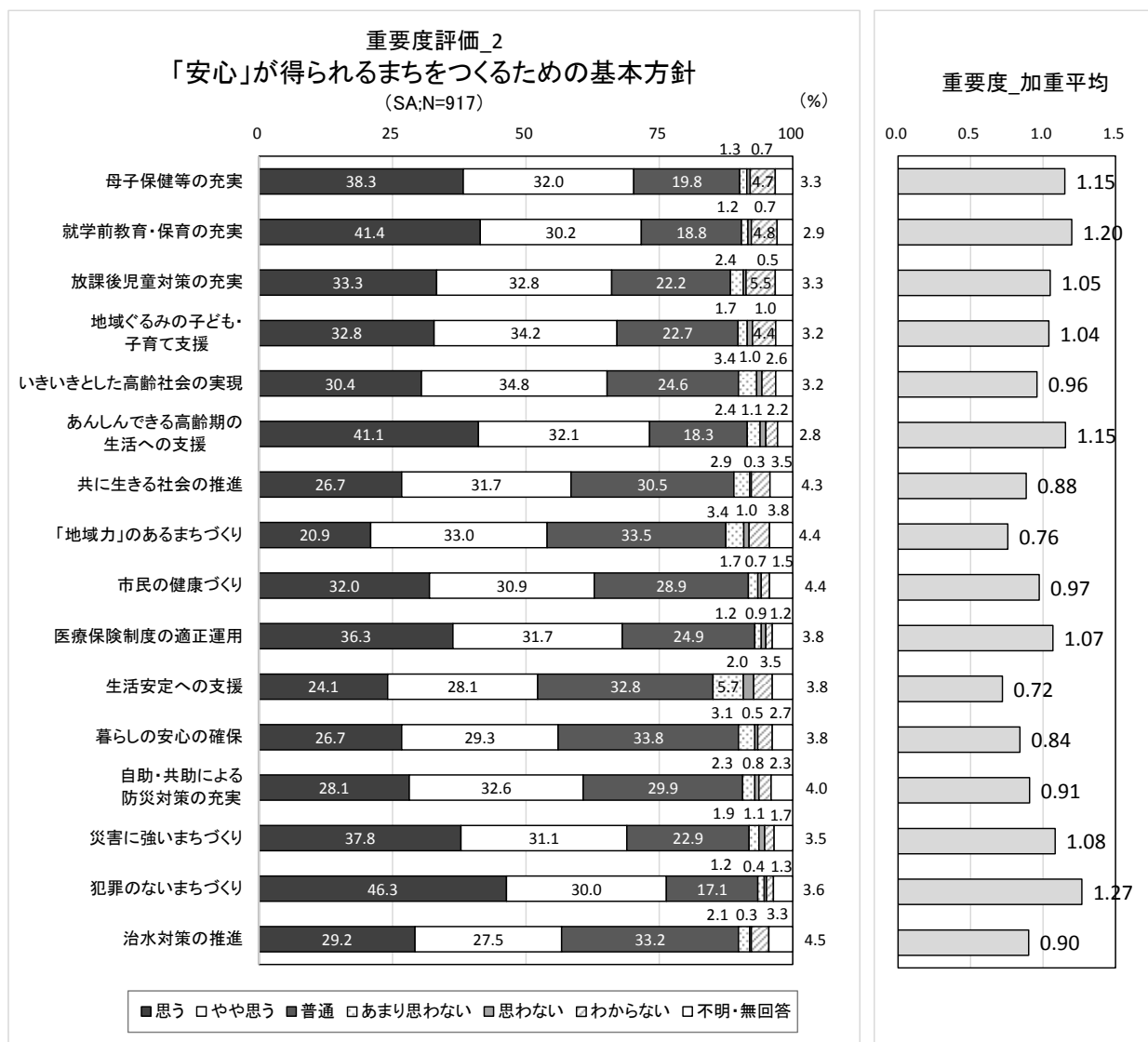
「やや思う」は「いきいきとした高齢社会の実現」が最も多く 34.8%、次いで「地域ぐるみの子ども・子育て支援」が 34.2% などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く 33.8%、次いで「「地域力」のあるまちづくり」が 33.5% などとなっています。

「あまり思わない」は「生活安定への支援」が最も多く 5.7%、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」「「地域力」のあるまちづくり」がそれぞれ 3.4% などとなっています。

「思わない」は「生活安定への支援」が最も多く 2.0%、次いで「あんしんできる高齢期の生活への支援」「災害に強いまちづくり」がそれぞれ 1.1% などとなっています。

「わからない」は「放課後児童対策の充実」が最も多く 5.5%、次いで「就学前教育・保育の充実」が 4.8% などとなっています。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「思う」は「快適な道路の整備」が最も多く 38.6%、次いで「水の安定供給」が 35.8%などとなっています。

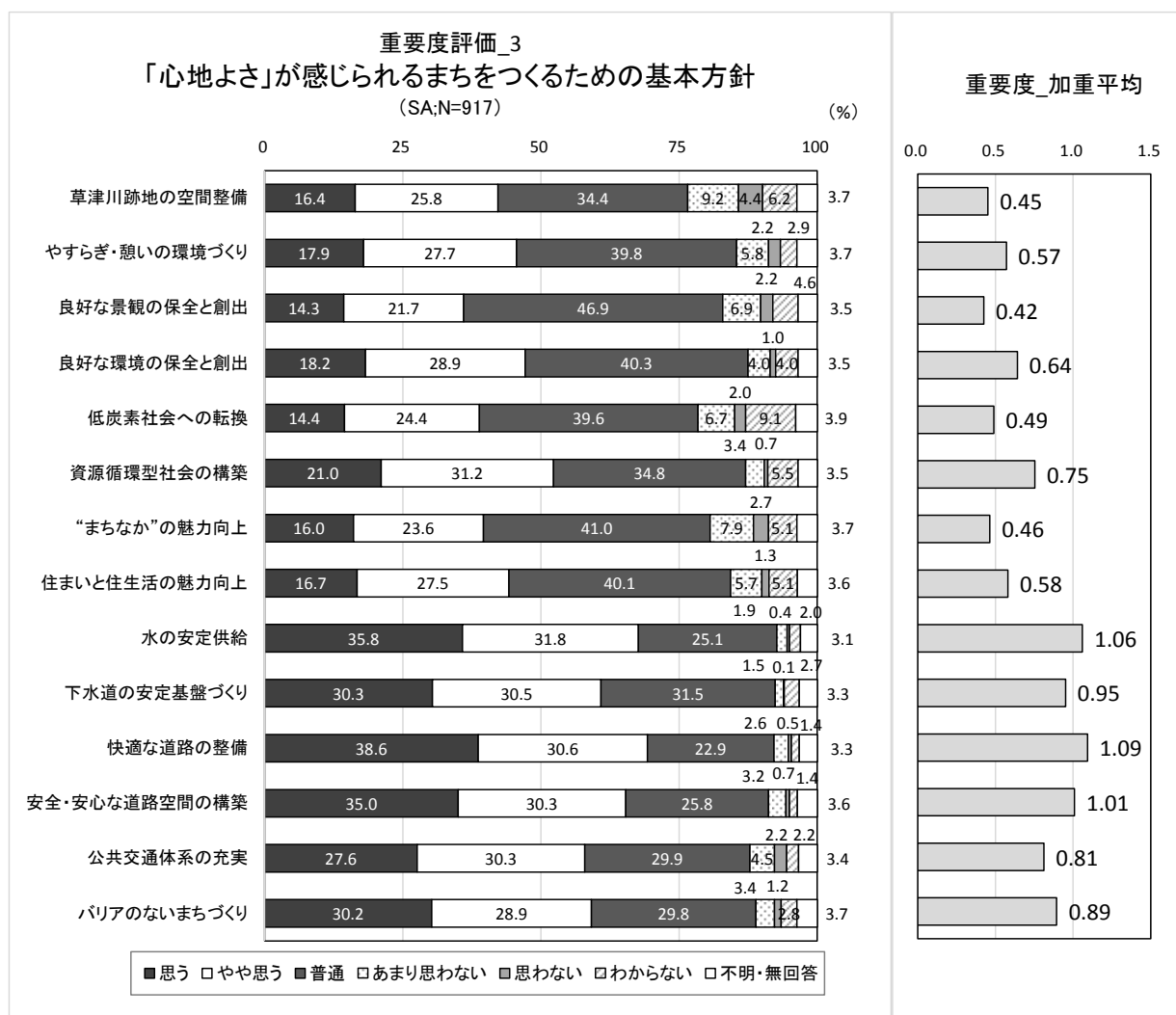
「やや思う」は「水の安定供給」が最も多く 31.8%、次いで「資源循環型社会の構築」が 31.2%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 46.9%、次いで「“まちなか”の魅力向上」が 41.0%などとなっています。

「あまり思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 9.2%、次いで「“まちなか”の魅力向上」が 7.9%などとなっています。

「思わない」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 4.4%、次いで「“まちなか”の魅力向上」が 2.7%などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 9.1%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 6.2%などとなっています。



④ 「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

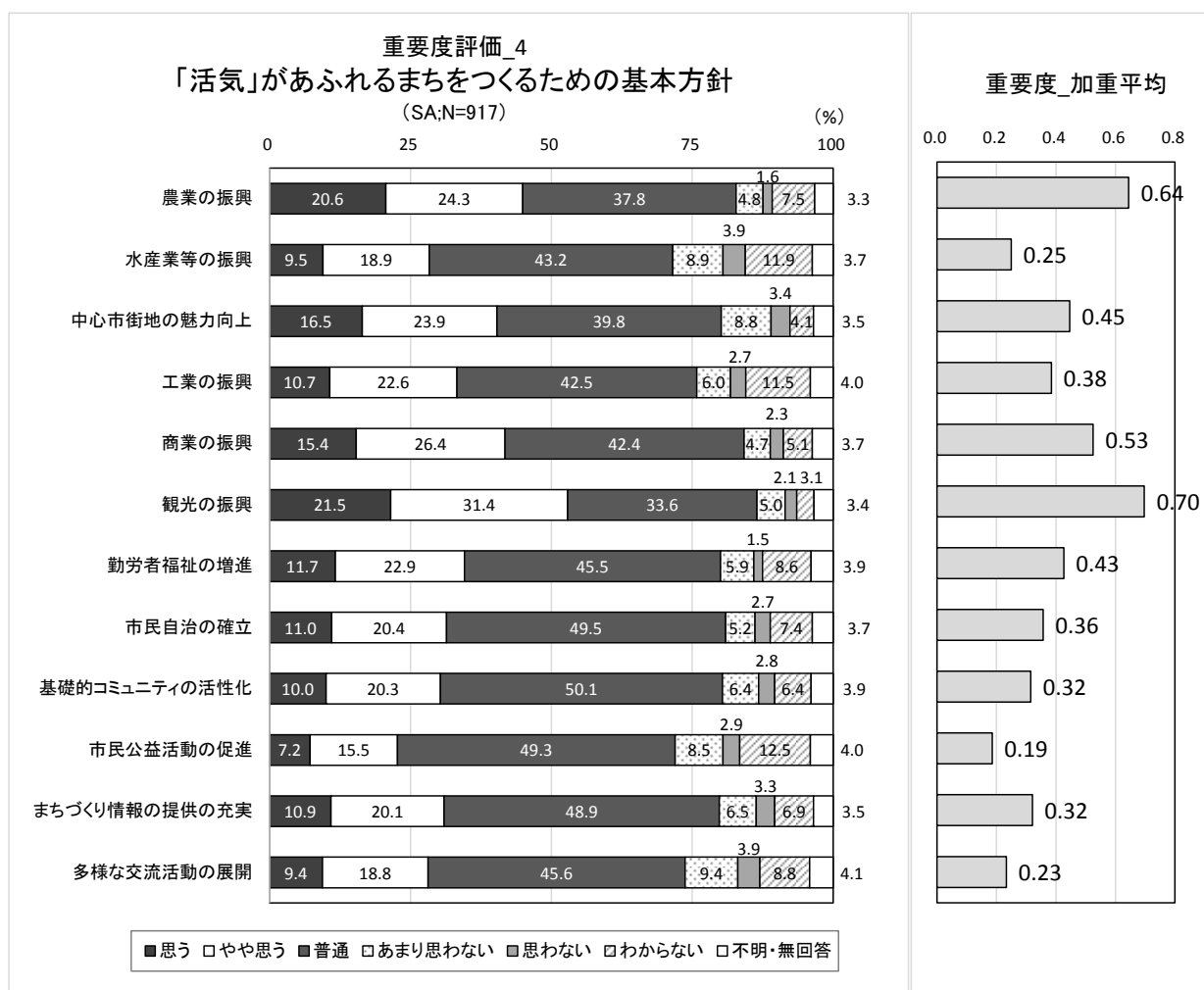
「思う」は「観光の振興」が最も多く 21.5%、次いで「農業の振興」が 20.6%などとなっています。
 「やや思う」は「観光の振興」が最も多く 31.4%、次いで「商業の振興」が 26.4%などとなっています。

「普通」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 50.1%、次いで「市民自治の確立」が 49.5%などとなっています。

「あまり思わない」は「多様な交流活動の展開」が最も多く 9.4%、次いで「水産業等の振興」が 8.9%などとなっています。

「思わない」は「水産業等の振興」「多様な交流活動の展開」が最も多く 3.9%、次いで「中心市街地の魅力向上」が 3.4%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 12.5%、次いで「水産業等の振興」が 11.9%などとなっています。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

「思う」は「職員力の向上」が最も多く 31.1%などとなっています。

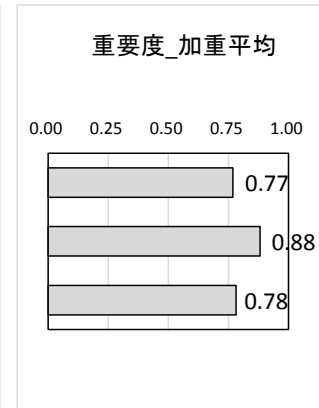
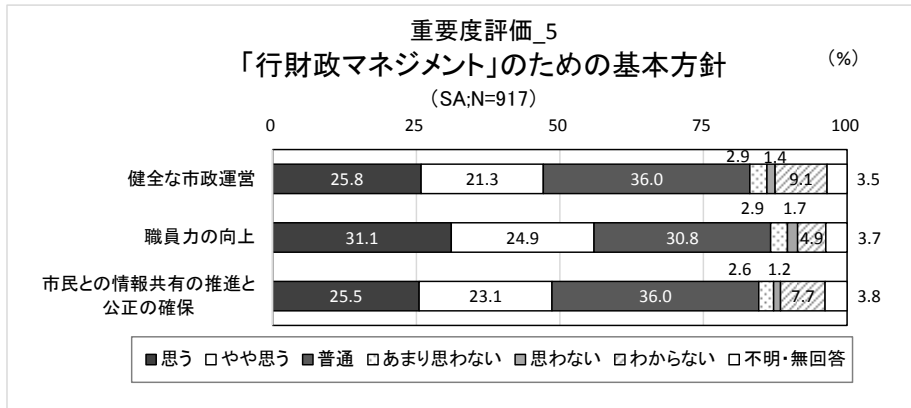
「やや思う」は「職員力の向上」が最も多く 24.9%などとなっています。

「普通」は「健全な市政運営」「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多くそれぞれ 36.0%などとなっています。

「あまり思わない」は「健全な市政運営」「職員力の向上」が最も多くそれぞれ 2.9%などとなっています。

「思わない」は「職員力の向上」が最も多く 1.7%などとなっています。

「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 9.1%などとなっています。

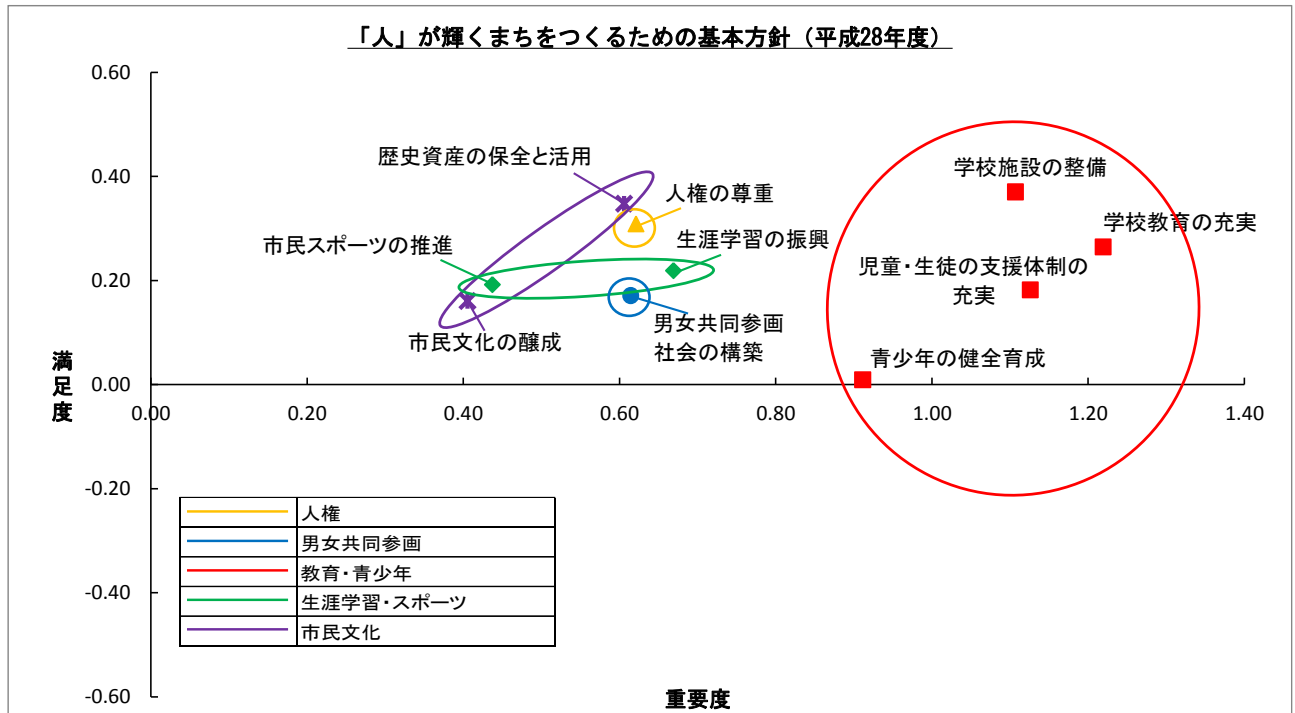


(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

① 「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「人」が輝くまちをつくるための基本方針のうち、「教育・青少年」の分野は他の分野と比較し、重要度が高くなっています。

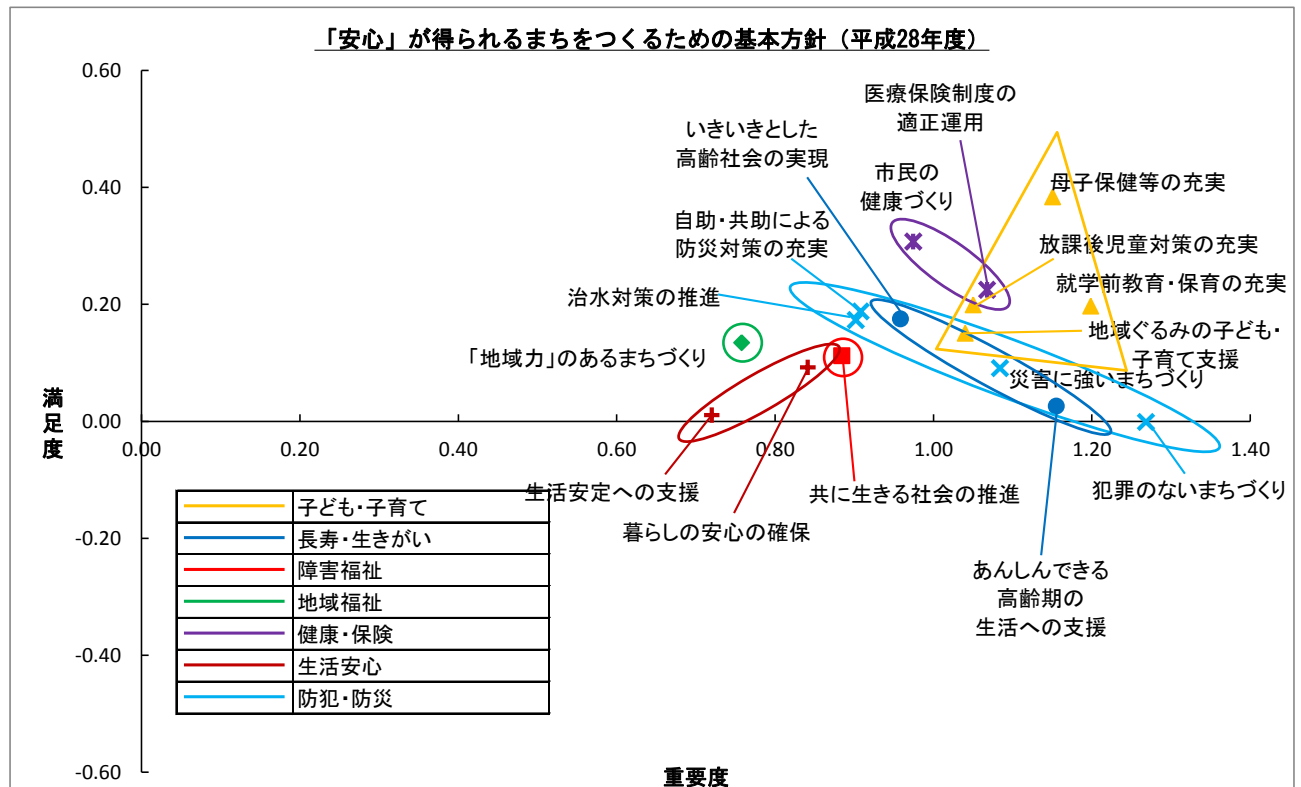
また、「青少年の健全育成」の基本方針は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.13、重要度 0.75）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



② 「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「安心」が得られるまちをつくるための基本方針は、全ての分野で重要度が高くなっています。また、防犯・防災の分野は他の分野に比べ、基本方針ごとの重要度・満足度の散らばりが大きくなっています。

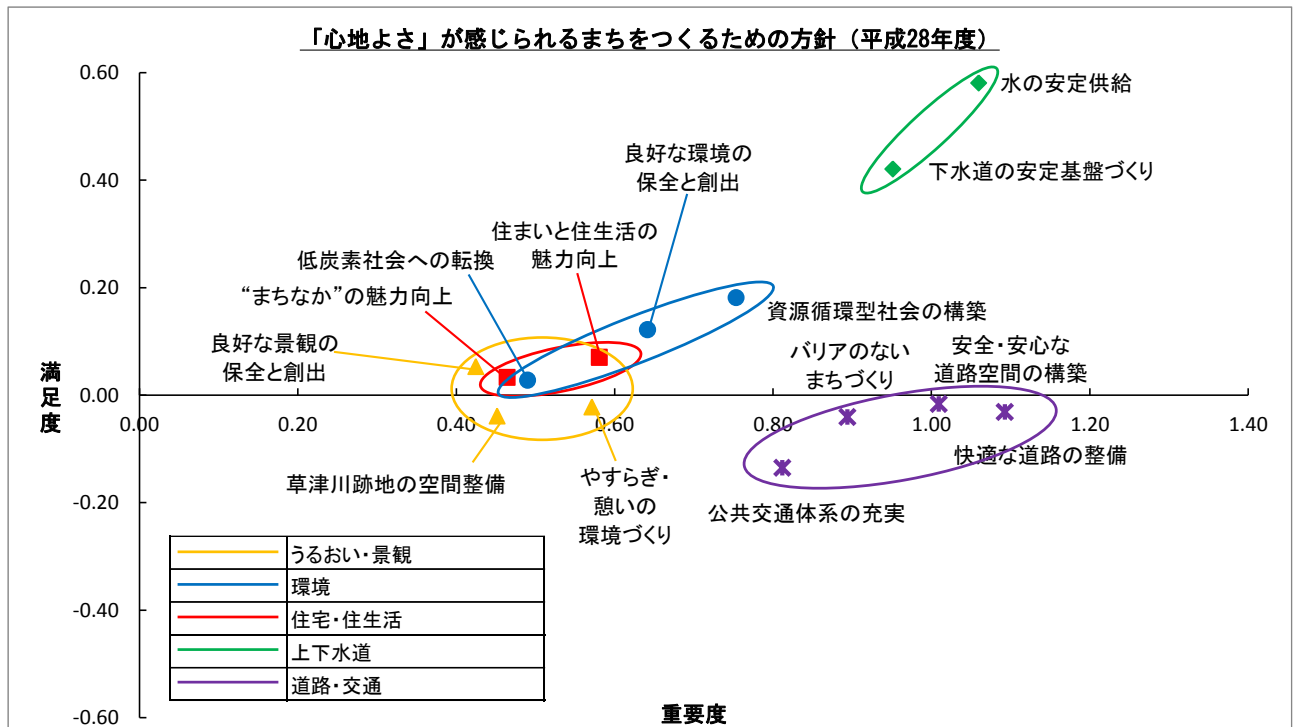
また、「あんしんできる高齢期の生活への支援」「共に生きる社会の推進」「暮らしの安心の確保」「災害に強いまちづくり」「犯罪のないまちづくり」の基本方針は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.13、重要度 0.75）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



③ 「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

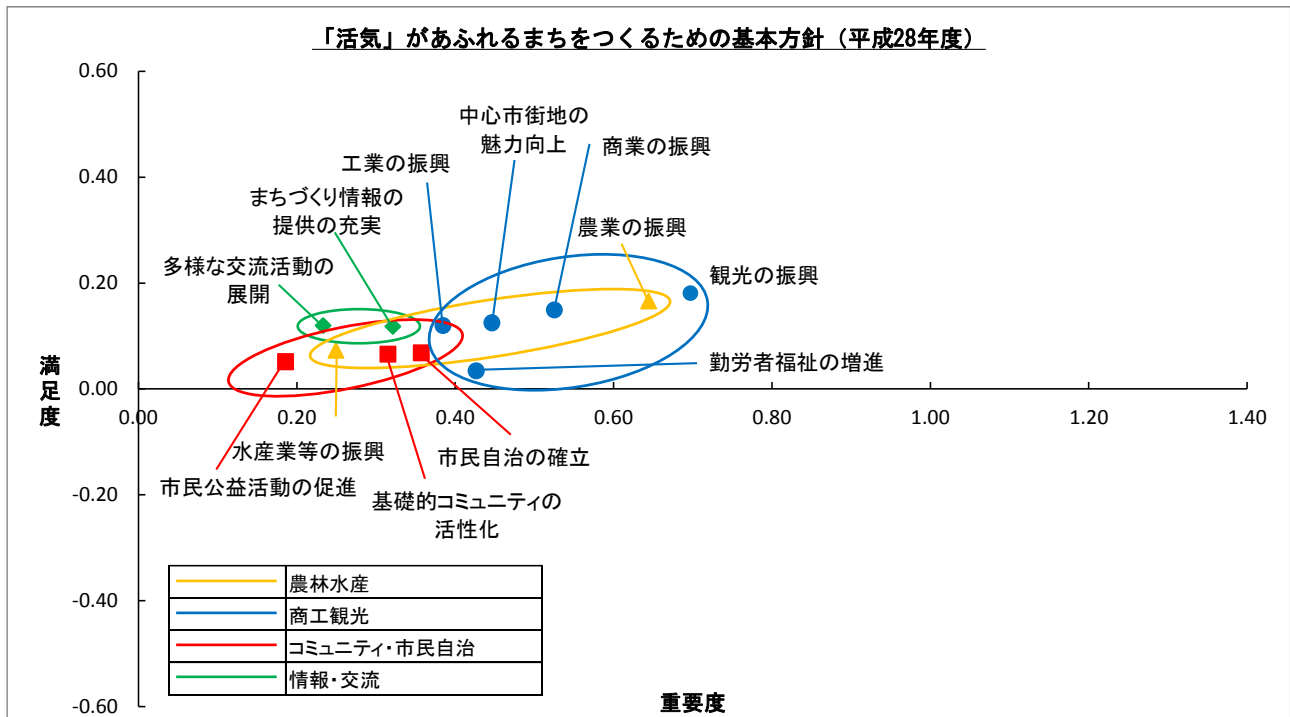
「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度・重要度ともに他の分野よりも高くなっています。

一方「道路・交通」の分野は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.13、重要度 0.75）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

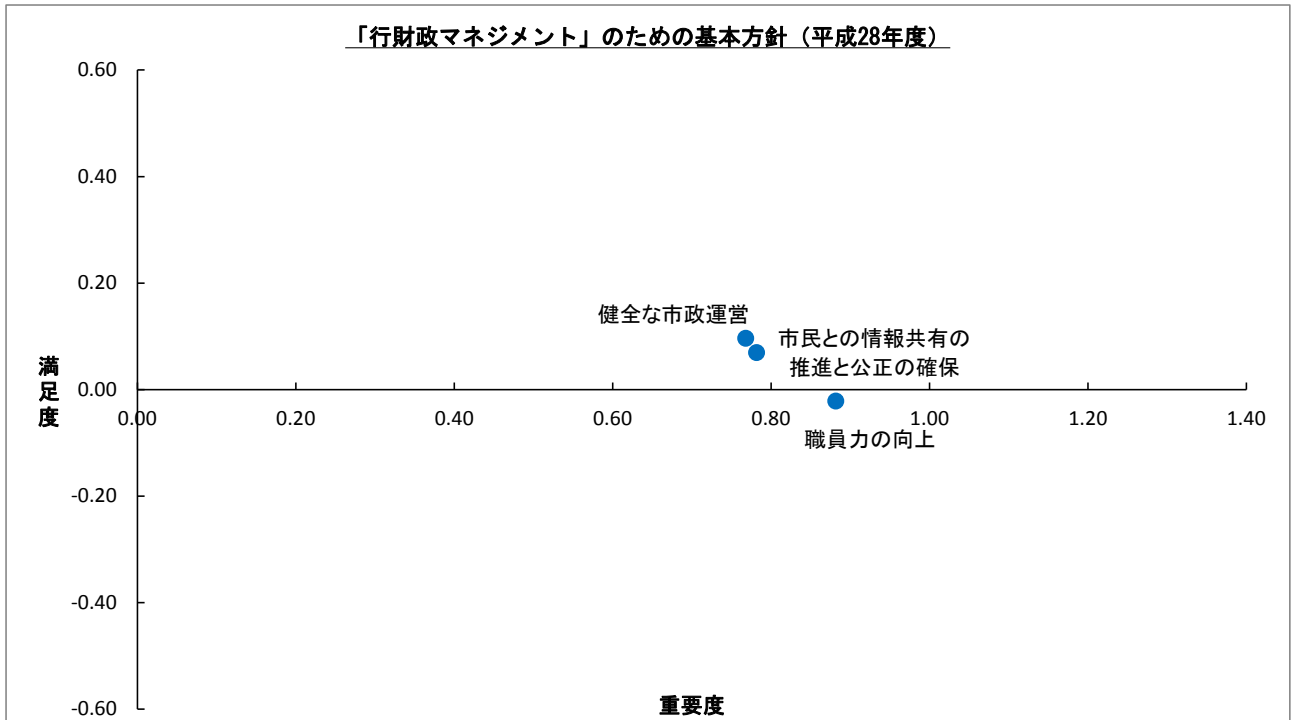
「活気」があふれるまちをつくるための基本方針は、どの分野においても全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.13、重要度 0.75）と比較して満足度、重要度ともに平均値を下回るものが多いです。



⑤ 「行財政マネジメント」のための基本方針

「行財政マネジメント」のための基本方針のうち、「職員力の向上」の満足度が0を下回っています。

また、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.13、重要度 0.75）と比較して、「行財政マネジメント」のための基本方針は、満足度が低く、重要度が高くなっています。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動など

① まちの住み心地など

「そう思う」は「買物をする環境が整っている」が最も多く 27.5%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 21.8%などとなっています。

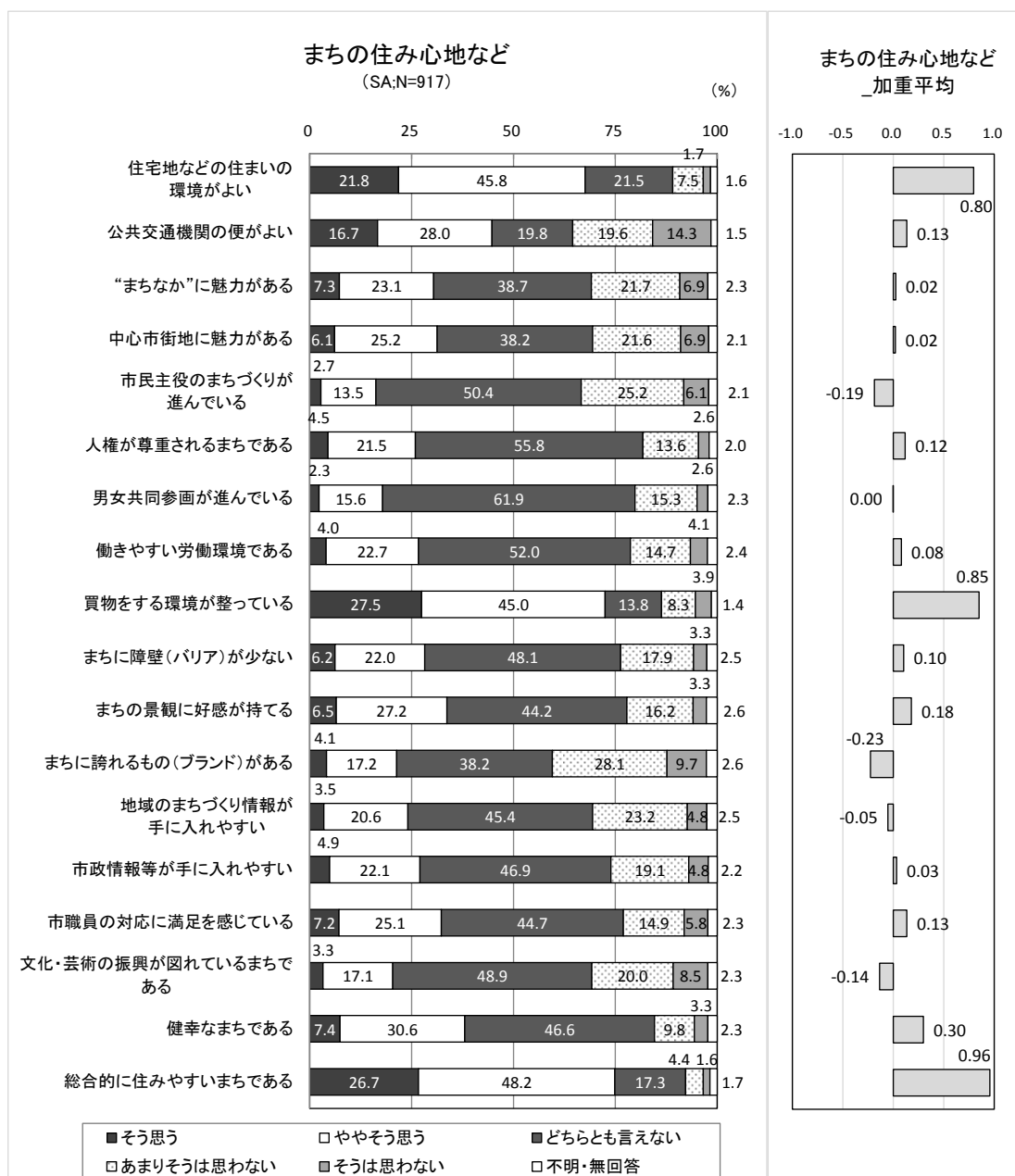
「ややそう思う」は「住宅地などの住まいの環境がよい」が最も多く 45.8%、次いで「買物をする環境が整っている」が 45.0%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「男女共同参画が進んでいる」が最も多く 61.9%、次いで「人権が尊重されるまちである」が 55.8%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 28.1%、次いで「市民主役のまちづくりが進んでいる」が 25.2%などとなっています。

「そうは思わない」は「公共交通機関の便がよい」が最も多く 14.3%、次いで「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が 9.7%などとなっています。

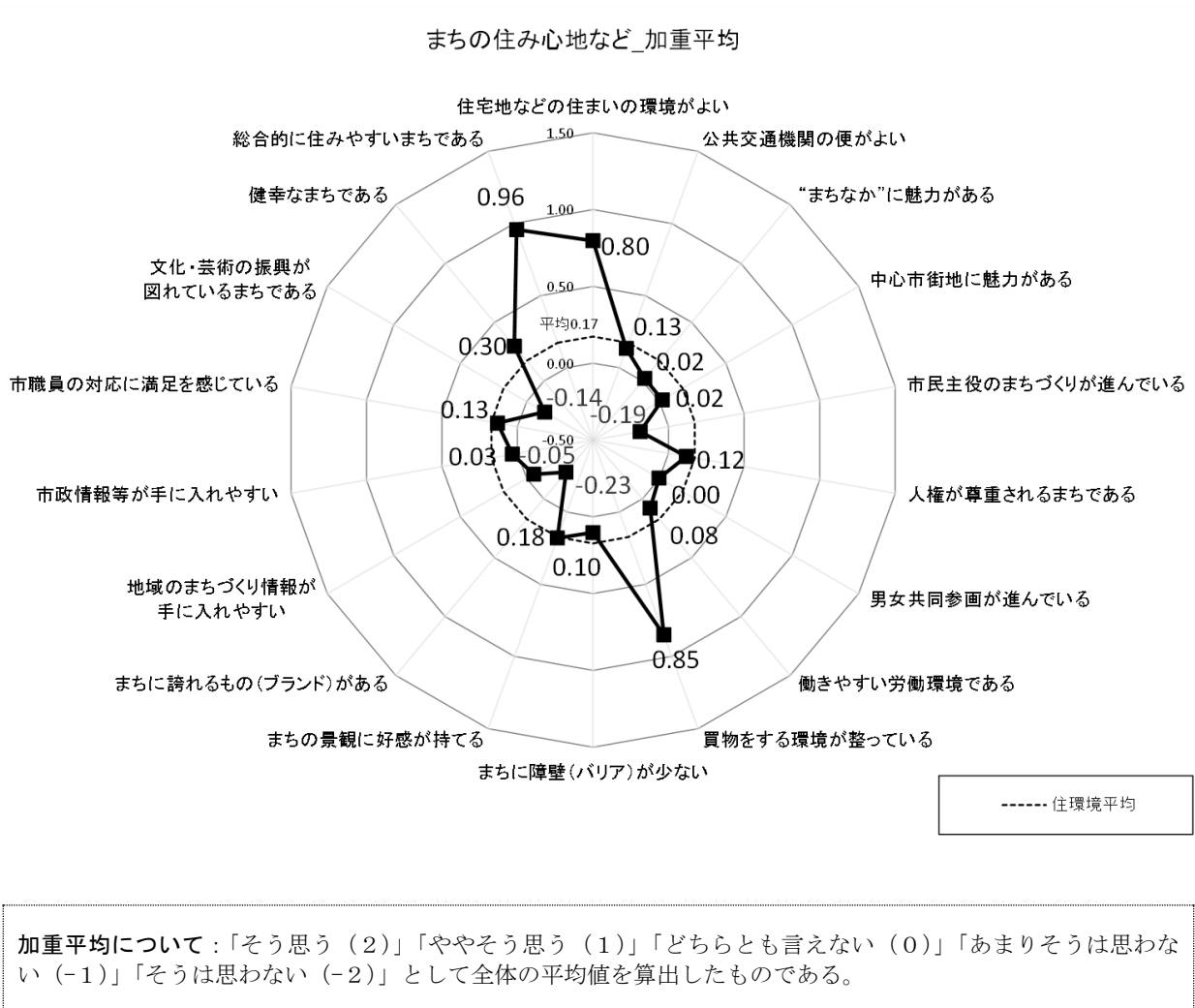
「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く 48.2%、次いで「そう思う」が 26.7%、「どちらとも言えない」が 17.3%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「文化芸術の振興が図れているまちである」「地域のまちづくり情報が手に入れやすい」においては評価が低くなっています。



② 日常の生活行動など

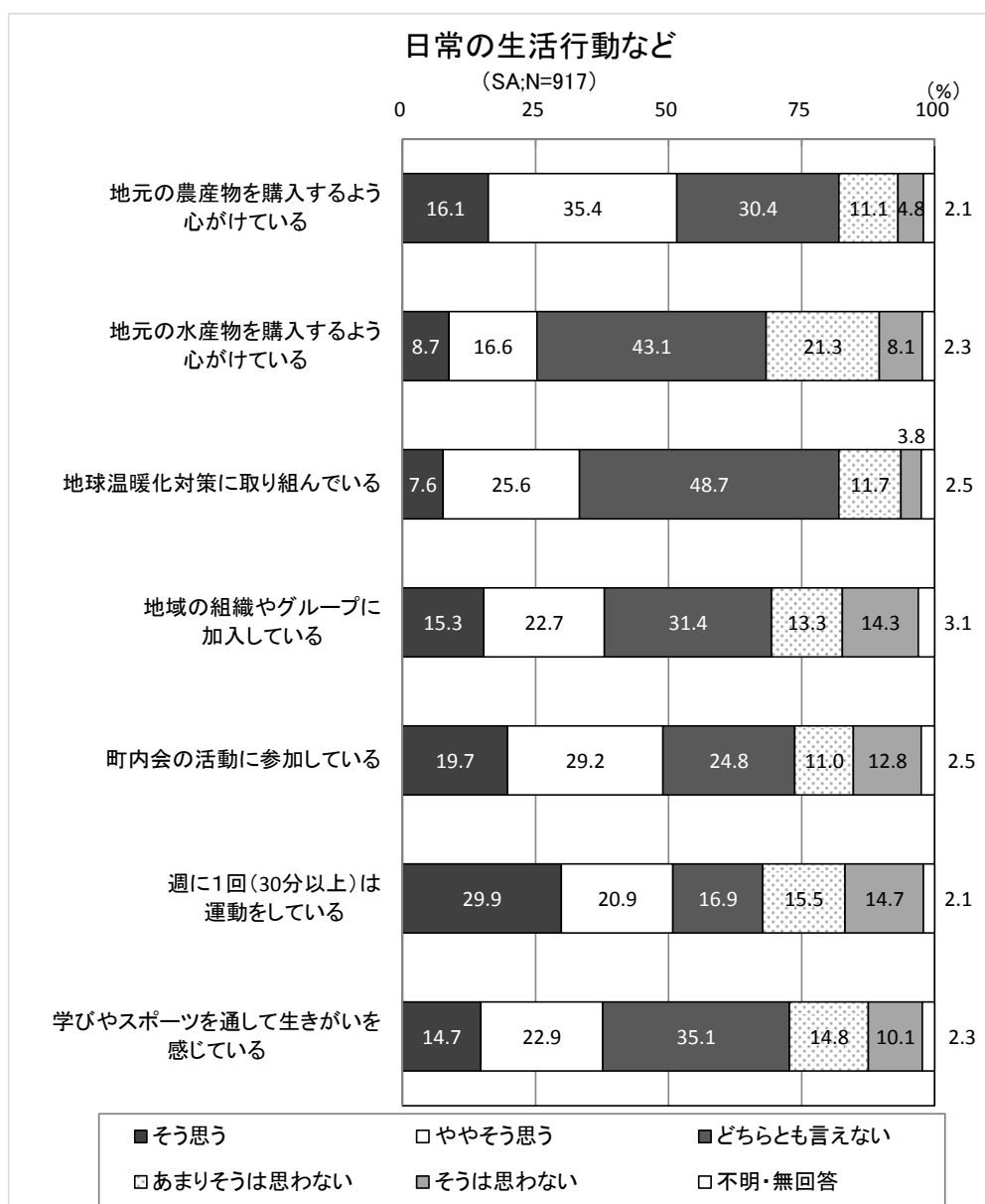
「そう思う」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く29.9%、次いで「町内会の活動に参加している」が19.7%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心がけている」が最も多く35.4%、次いで「町内会の活動に参加している」が29.2%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く48.7%、次いで「地元の水産物を購入するよう心がけている」が43.1%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「地元の水産物を購入するよう心がけている」が最も多く21.3%、次いで「週に1回(30分以上)は運動をしている」が15.5%などとなっています。

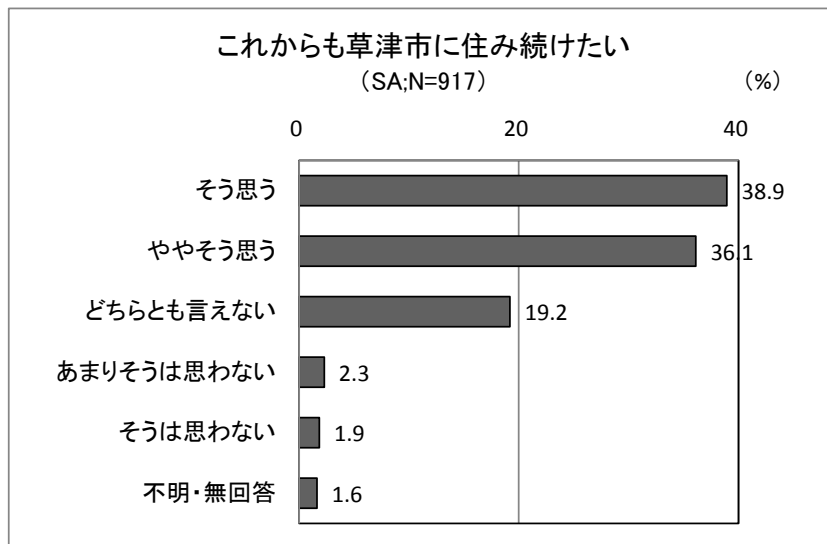
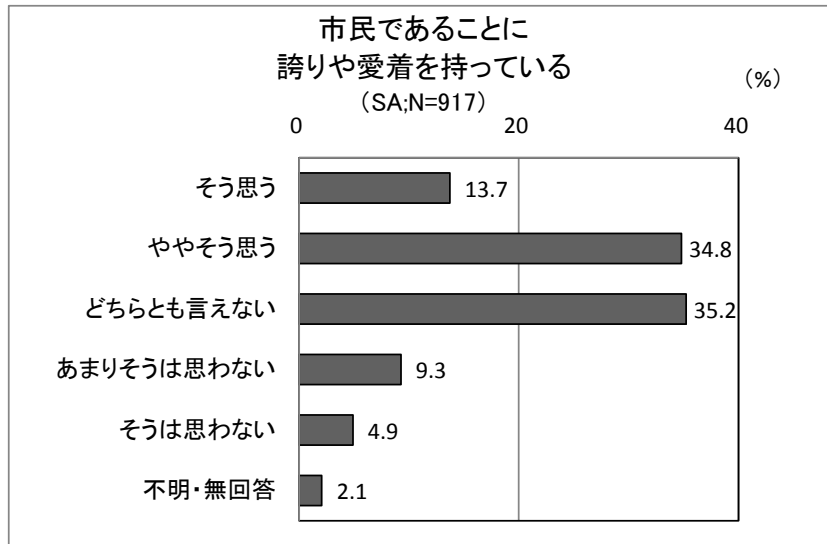
「そうは思わない」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く14.7%、次いで「地域の組織やグループに加入している」が14.3%などとなっています。



③ 市民であることの誇りや定住意向

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「どちらとも言えない」が最も多く35.2%、次いで「ややそう思う」が34.8%などとなっています。

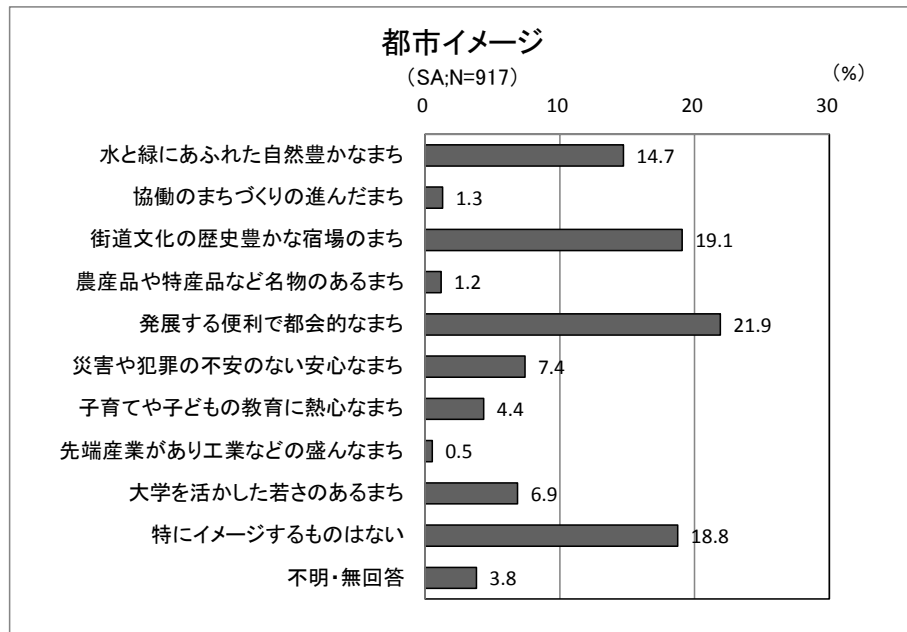
「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く38.9%、次いで「ややそう思う」が36.1%などとなっています。



(6) 草津市のイメージ

① 都市イメージ

「発展する便利で都会的なまち」が最も多く 21.9%、次いで「街道文化の歴史豊かな宿場のまち」が 19.1%、「特にイメージするものはない」が 18.8%などとなっています。



② 地域資源

「烏丸半島など琵琶湖畔」が最も多く18.0%、次いで「イナズマロックフェス」が12.1%、「草津宿本陣」が9.6%などとなっています。

